

経営比較分析表（令和3年度決算）

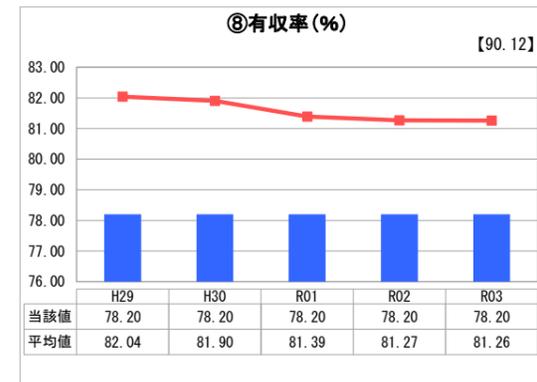
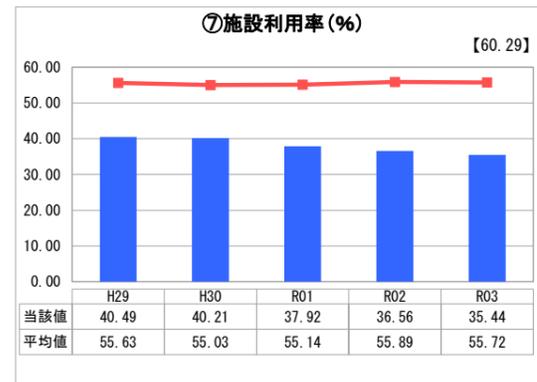
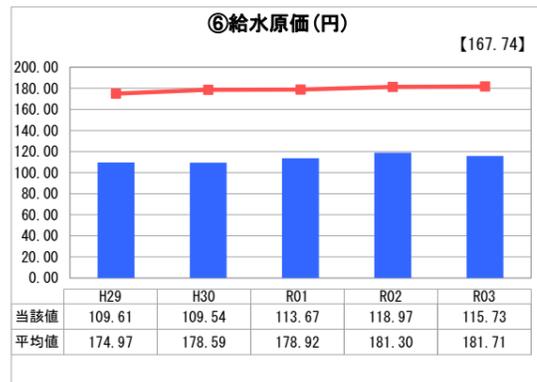
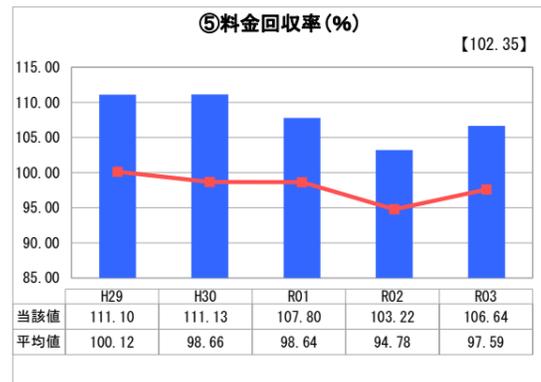
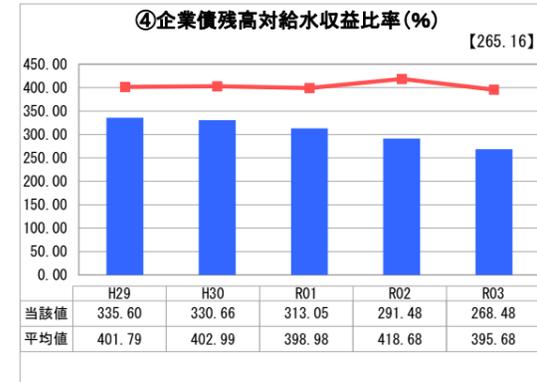
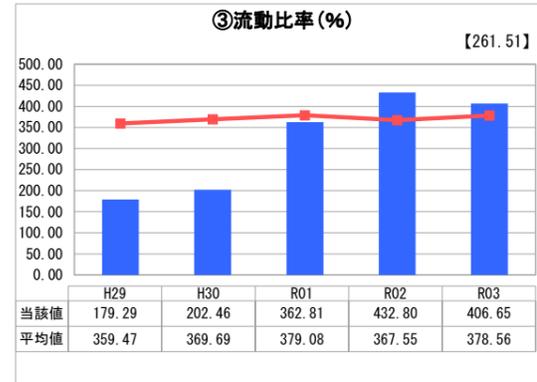
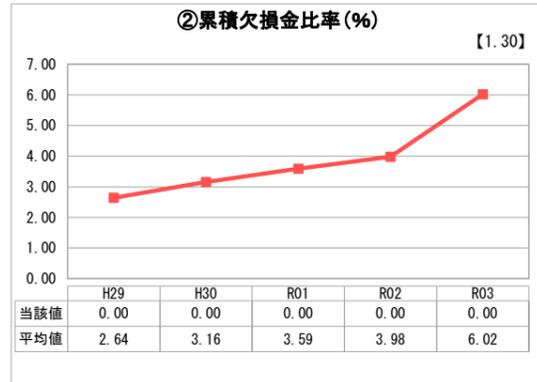
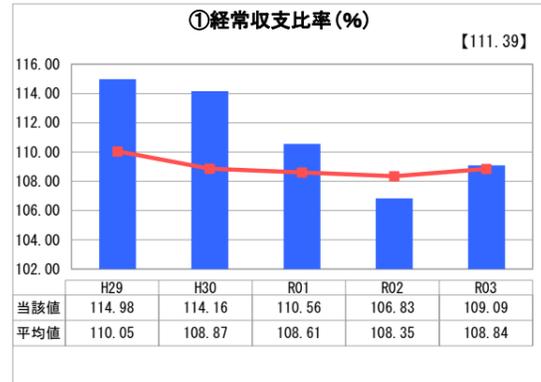
群馬県 みなかみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	74.11	96.60	2,470	

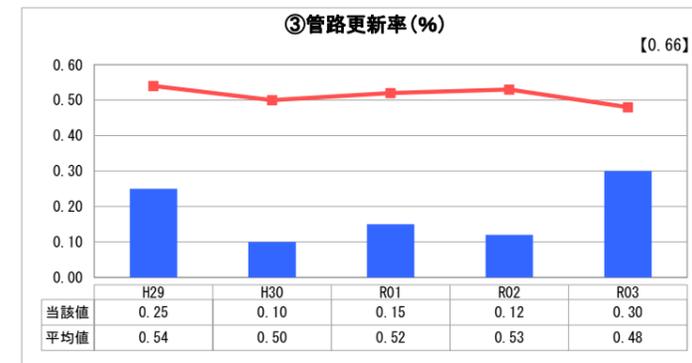
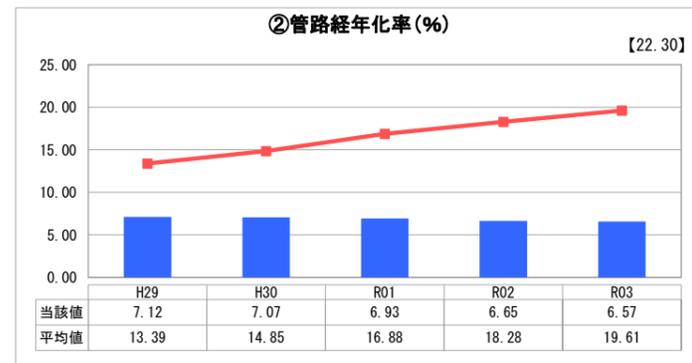
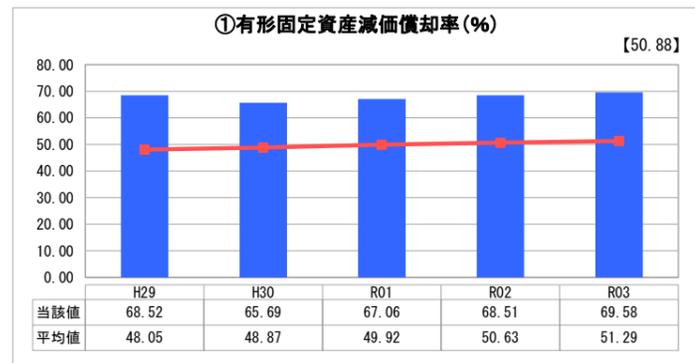
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,941	781.08	22.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,144	205.51	83.42

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常費用の減少により、経常収支比率が上昇した。引き続き費用削減し、更新投資に充てる財源の確保に努める。
 ② 累積欠損金比率は0%ではあるが、人口の減少に伴い給水収益は毎年減少している。また、施設の老朽化により今後の維持管理費は多額になることが見込まれるため、計画的な維持管理が求められている。
 ③ 流動比率は類似団体や全国平均より高く、短期的な債務に対する支払能力があると言える。今後もバランスのとれた債務管理が必要である。
 ④ 企業債残高対給水収益比率が低下した。必要な更新投資が出来ていない状況の表れとも言える。
 ⑤ 料金回収率は類似団体や全国平均より高い水準を保っている。給水に係る費用が給水収益で賅えていると言える。
 ⑥ 給水面積が広く、施設が広範囲に点在して維持管理には不利な条件だが、維持管理費の抑制により、給水原価は類似団体や全国平均より低い。
 ⑦ 施設利用率は徐々に低下している。原因は給水人口の自然減によるものと考えられる。
 ⑧ 有収率は横ばいである。類似団体や全国平均より低く、改善するためには漏水対策が必要である。

2. 老朽化の状況について

①②③
 老朽管更新計画を策定しているが、資金面の課題から、計画どおりの事業実施に至っていない。耐用年数を経過した施設は複数あるため、各施設の維持管理に注意しながら、緊急的なものから更新していくこととしている。

全体総括

有収率及び管路更新率が低く、有形固定資産減価償却率が高いことから、管路の更新投資を増やす必要があるが、経常収支比率は下がり続けているため、更新等の財源確保が難しくなりつつある。給水収益の減少、施設の老朽化が進む中で、効率的な事業展開が求められている。水需要の動向を踏まえ、老朽化した施設の更新や財源確保の検討を進め、水の安定供給を図る。